

ここでは役場で行っている環境マネジメントシステムの内容や取り組みについて紹介します。

前回はエコアクション部門について紹介しましたが、今回はエコマネジメント(環境経営)の具体的な取り組みを紹介します。

## エコマネジメント(環境経営)部門

1. 取り組みが環境面にどのような効果があるか、職員の認識と理解を聞き取りにより調査します。
2. 日常業務が環境にどのように影響するか、職員の認識と理解を聞き取りにより調査します。  
例えば、電気の無駄遣いやガスの着けっぱなしにより環境にどのように影響するか。
3. 町が決める独自目標を、どれだけ職員が認識し理解し目標達成に取り組むことが出来るか。
4. 環境に対する町の組織体制や責任体制を明確にします。
  - 環境政策推進本部
    - ・ 町長、助役、教育長、保健医療福祉センター長、教委参事及び各所属長で構成する「議決機関」です。
    - ・ 本部長には町長、副本部長には助役があたります。
  - 環境マネージャー会議
    - ・ 環境マネージャーとして各所属長と各学校長で構成し、本部長からの指示により、ワーキング活動を行う「協議機関」です。
  - 実行部門
    - ・ 全職員が対象となり、所属長や施設等の長は「実行責任者」となります。
  - 目標設定チーム
    - ・ 住民等で構成し、独自目標の設定について検討する組織です。
  - 監査チーム
    - ・ 住民や LAS - E 事務局から派遣される環境審査の専門家で構成する組織です。
5. 推進本部や環境マネージャー会議を定期的に行います。
6. 全職員を対象に環境に関する教育を定期的に行います。
7. 環境に関する事やシステムに関する事を町長と推進本部が定期的に行います。
8. 日常業務で発生するごみの量などを定期的に行います。
9. 各課単位で、各課、庁舎全体のごみの発生量などを把握しより一層の取り組みを進めていきます。

エコマネジメントに関しては職員の環境に対する理解や、環境マネジメントシステムの運用方法や運用責任など、意識に関する項目が主になります。

エコマネジメントについては以上の取り組みを行っています。

次回は、エコガバナンス部門、独自目標部門について紹介していきます。

平成18年度 ゴミ排出量

平成18年度4～9月実績

役員記録

単位g

月	燃える	燃えない	プラ資源	古紙	段ボール	新聞	雑誌類	レター	紙資源	カン	ペットボトル	計
4	1544	1236	388	4795	1463	431	7612	5469	1,9770	787	73	23797
5	2251	350	367	2896	824	675	4017	4853	1,3265	354	54	1,6641
6	2245	786	495	3613	896	556	3464	3039	1,1568	890	221	1,6205
7	1906	320	477	2759	1031	745	3329	2530	1,0454	840	1235	1,5232
8	1887	930	609	3420	1191	837	1985	3269	1,0702	1058	222	1,5408
9	2639	924	428	1720	1035	756	718	1839	6118	1020	303	1,1432
10												
11												
12												
1												
2												
3												
合計	1,2472	4546	2764	1,9203	6550	4000	2,1125	2,0999	7,1877	4949	2108	98715

詳しくは土幌町のホームページに載っていますので参照ください。

ホームページ <http://www.shihoro.jp/hp/LAS-EHP/meinn00.htm>

